



北海道大会を終えて

全国肢体不自由養護学校PTA連合会

会 長 木 村 知 鶴

今年度の総会においてご承認をいただき、平成 16 年度の全国肢体不自由養護学校PTA連合会の会長に就任致しました。全国の代表である会長の責務の大きさと職務の重さを痛切に感じておりますが、これからも子ども達の未来のために会長の務めに邁進して参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、ここ数年の特殊教育から特別支援教育へと変わっていく動きの中で「個別の支援計画」は、子ども達の一生涯を見通した重要な計画です。子どものことを一番に理解している私たち保護者は、支援者の一人として関係機関との連携を大切に協力していききたいと思います。

昨年度は冷夏の中での沖縄大会でしたが、今年度は全国的に猛暑の中での北海道大会となりました。暑さで疲れ気味の私たちに北海道の爽やかな風が心地よく迎えてくれる中、第 47 回全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究大会が開催されました。

今年度も「21 世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか」を研究主題に 6 つの分科会に分かれて、それぞれの研究協議の題に沿っての実践発表を行い、活発な意見交換や情報交換がなされました。また第 6 分科会「医療との連携」では、「在宅及び養護学校における日常的な医療の医学的法律学的整理に関する研究」会議の経過を踏まえて、特別に、ご来賓である文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官 古川勝也様から、今後の養護学校内における医療的ケアに関するお話を伺うことが出来ました。それは、この大会が全国の大会だからこそ最新の情報としてお話し頂けたのだと思います。その他、ロビーにて紹介活動をされていた道内の「親父の会」が、懇親会の席でも詳しく紹介

されました。その熱く語られていた「親父の会」が全国に波及される事を願っております。

2 日目は、昨年沖縄大会に引き続きシンポジウムを開催致しました。テーマに「豊かなライフステージをめざし、一貫した支援を考える」…「個別の教育支援計画」作成のための家庭、教育、福祉、労働、医療等の連携はいかにあるべきか…とし、コーディネーターに独立行政法人国立特殊教育総合研究所理事長 細村迪夫様をお願いし、まずは特別支援教育の流れを保護者にも解りやすくお話いただいた後、シンポジウム全体のコーディネートをしていただきました。シンポジストには、療育にたずさわる立場から旭川肢体不自由児総合療育センター院長 長和彦様、福祉機関からは、社会的支援を具体的に実践している立場から、札幌市中央区サポートセンター「相談室ぼぼ」室長 大久保薫様、教諭の立場からは「個別の教育支援計画」を提示し、さらに具体的なお話も含めて教育現場からの提言をいただきました北海道真駒内養護学校教諭 相蘇敏様、そして保護者の立場からは「個別の教育支援計画」に基づいた各関係機関への要望や期待などについて率直に発言していただきました北海道白糖養護学校PTA会長 田中忠昭様と、それぞれの専門分野から活動を踏まえてのご提言を発表していただきました。

その話の流れから、指定討論者としてご来賓でいらっしゃる各省庁の専門官にもシンポジウムに加わっていただきました。文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官 古川勝也様には、医療的ケアのお話も含めて相談支援体制などの整備等を教育の立場からご提言、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害福祉専門官 渡邊雅浩様にはケアマネージャー、コーディネーターの役割と社会福祉制度の整備のお話を、厚生労働省職業安

定局高齢・障害者雇用対策部障害者雇用対策課障害者雇用専門官 小嶋文浩様には、教育と卒業後の児童生徒の労働に関するご提言を、在宅就労も含めて福祉的就労から一般就労に個別の移行支援等の内容をお話いただきました。専門官の皆さまには「個別の支援計画」を進めるには、児童生徒の一人一人のニーズに対応しどのような連携が必要であるか、また全国的な取り組み等の状況なども交えてご提言をいただきました。本大会を通じて、これからの子ども達が生きがいをもって自分らしく生きていけるような社会になるように、全国肢体不自由養護学校PTA連合会も全

国肢体不自由養護学校長会と共に努力していきたいと思われました。

北海道の国際観光都市、札幌での2日間は爽やかな風が吹く中、様々な熱い思いを聞くことが出来ました。最後になりましたが、この大会を開催するにあたり、北海道・東北ブロックの皆様、北海道内の学校関係者の皆様、特に札幌市内5校の皆様、また主管校の拓北養護学校のPTAおよび校長先生、教頭先生をはじめとする学校関係者の皆様方の一丸となつての大会成功へのご尽力に心より感謝申し上げます。

第47回(平成16年度) 総会報告

平成16年8月22日(日)、札幌市「京王プラザ札幌 2F エミネスホール」にて、全国肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究大会「北海道大会」の開催と共に、平成16年度総会が開催されました。提案された議題は総て承認されましたので、以下の通り報告いたします。

(司会 本部事務局長 津久井孝子)

1. 会長挨拶

全肢P連会長 (東京都立城北養P会長)
村上節子

2. 新加入PTA紹介

本部事務局長 津久井孝子

3. 議長選出

北海道・東北地区 青森県立青森第一養P会長
中村真理子
関東・甲越地区 茨城県立下妻養P会長
鈴木恒男

4. 議事

- 平成15年度事業報告
全肢P連会長 村上節子
- 平成15年度会計決算報告
本部事務局長 津久井孝子
- 平成15年度会計監査報告
監事 (東京都立江戸川養P会長)
阿部紀久代
- 会長退任の挨拶
村上節子
- 平成16年度役員紹介及び承認
全肢P連会長 村上節子
- 平成16年度役員あいさつ
全肢P連新会長 (東京都立小平養P会長)
木村知鶴
- 平成16年度事業計画(案)
全肢P連新会長 木村知鶴
- 平成16年度会計予算(案)

本部事務局次長 石井利恵

(9) 表彰者・顧問の推薦と確認

全肢P連新会長 木村知鶴

5. 議長解任

6. 感謝状贈呈

全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前会長
村上節子様
全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前副会長
仲里秋子様

平成15年度事業報告

1. 役員会の開催

第1回役員会

平成15年8月17日(日)

於：かりゆしアーバンリゾート那覇

(宜野湾市真志喜4-3-1)

●主な審議事項

- 平成14年度事業報告、決算報告、監査報告
- 平成15年度役員案
- 平成15年度事業計画案、予算案
- 表彰者の確認
- 沖縄大会決議文案
- 次期北海道大会について

第2回役員会

平成16年1月22日(木)

於：新宿区立コズミックセンター(新宿区大久保3-1-2)

●主な審議事項

- 「沖縄大会」報告
- 平成15年度事業・会計中間報告
- 「北海道大会」の実施計画と役割分担について
- 平成16年度事業計画案・会計予算案について

緊急役員会

平成16年2月28日(土)

於：全国心身障害児福祉財団 4階会議室

● 審議事項

- (1) 平成 16 年度事務局の件
- (2) 平成 16 年度事務局補助員の人選

2. 総会の開催

平成 15 年 8 月 18 日(月)

於：沖縄コンベンションセンター

● 主な審議・承認事項

- (1) 平成 14 年度事業報告、決算報告、監査報告の承認
- (2) 平成 15 年度役員承認
- (3) 平成 15 年度事業計画案、予算案の承認
- (4) 表彰者の確認
- (5) 感謝状の贈呈

3. 第 46 回全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会総会及び P T A ・校長会合同研究大会「沖縄大会」の開催

平成 15 年 8 月 17 日(日)～ 19 日(火)

於：沖縄コンベンションセンター

主 題 『21 世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える肢体不自由教育及び社会づくりの推進のため P T A 活動はどうあればよいか。』

(1) 分科会

- 第 1 分科会 「学校との連携」
- 第 2 分科会 「地域との連携」
- 第 3 分科会 「進路確保 A (地域・施設等)」
- 第 4 分科会 「進路確保 B (就労・進学等)」
- 第 5 分科会 「機器の利用」
- 第 6 分科会 「医療との連携」

(2) シンポジウム

『乳幼児期から学校卒業後まで、一貫した支援をもとめて』
～教育、医療、福祉、労働の連携のあり方～

【コーディネーター】

全国特別支援教育推進連盟理事長 三 浦 和 氏

【シンポジスト】

- 文部科学省特別支援教育課特殊教育調査官 古川 勝也 氏
- 厚生労働省障害福祉課障害福祉専門官 小田島 明 氏
- 厚生労働省障害者雇用対策課障害者雇用専門官 五十嵐 意和保 氏
- 北海道真駒内養護学校 P T A 会長 石 黒 恵 子 氏

(3) 参加者 000 名

4. 会報の発行

- (1) 第 68 号 会 報 平成 15 年 7 月 15 日 20,000 部発行
- (2) 第 69 号 会 報 平成 15 年 10 月 15 日 20,000 部発行
- (3) 第 70 号 会 報 平成 15 年 12 月 11 日 10,000 部発行
＜全国大会（沖縄大会）特集号＞

5. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

沖縄大会実行委員会

第 46 回 P T A ・校長会合同研究大会（沖縄県立鏡が丘養）
8/17～19 664 人

千葉県立松戸養 9/12 70 人
「リハビリとりハビリテーション」
東京都立城北養 10/28 161 人
「肢体不自由をもった子どもの青年期における発達と性教育」

《ボランティア研修会》

北海道真駒内養 7/30 34 人
「学生ボランティア活動の実際」
大分県立別府養 8/5 59 人
①「ボランティア活動について」
②「障害のある子どもたちへ理解と障害児教育」

《在宅重度障害児集団療育事業》

高岡市立こまどり養 8/23～24 36 人
「こまどりの子どもたちの療育」
滋賀県立甲良養 7/26～27 44 人
①「いきいきとした心と身体をめざして」
②「臨床動作法の理論と実際」
広島県立広島養 8/23～24 45 人
①「障害者の生活と地域支援のあり方について」
②「障害者のレクリエーション活動について」

【社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

開催会場

- 青 森 (10/25～26)
- 大 宮 (11/13～14)
- 防 府 (12/6～7)
- 京王閣 (H16/1/30～31)
- 静 岡 (H16/2/14～15)

6. 関係団体事業および行事への参加

- (1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加等
- (2) 全国肢体不自由養護学校校長会総会出席 6 月 24 日
- (3) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加
 - 全国特別支援教育推進連盟結成 40 周年記念 第 13 回全国特別支援教育振興大会 (12 月 4 日) への参加
於：代々木オリンピックセンター
 - 平成 16 年度予算要望についての協議会 7/1
 - 常任理事会 5/1
 - 理事会 5/16、10/7、H16/2/14
於：ナーベルお茶の水
- (4) 全国心身障害児福祉財団父母連絡会、評議委員会その他への参加
 - 理事会・評議員会 3/26
 - 国庫補助事業、日本自転車振興会事業、などの説明会 4/10
- (5) 第 22 回肢体不自由児・者の美術展 (12 月 4 日～7 日) (社会福祉法人 日本肢体不自由児協会) への協力、運営委員会 (5/7・10/2)、審査会 (10/15) への参加ならびに全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会賞の授与
12 月 4 日(木) 東京芸術劇場にて常陸宮殿下ご臨席のもとで表彰式
つぎの方々が全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会を受賞 (敬称略)

平成 15 年度 会計決算報告

<収 入>

単位 円

項 目	15 年度予算	15 年度決算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	738,173	738,173	
会 費	5,950,350	5,950,350	350 円×17,001 人 在籍児童生徒数 (分担金)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (会報第 70 号大会号 1,146,600 円の内の補助分)
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	別掲内訳
社会福祉医療助成費	0	0	平成 15 年度は実施なし
寄 付 金	—	100,000	福地周一様より
雑 収 入	400,000	416,142	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	9,337,523	9,453,665	

<支 出>

項 目	15 年度予算	15 年度決算	摘 要
会 議 費	450,000	374,001	大会 20 万円、役員会 5 万×2、その他会議室代等
研 修 費	850,000	823,605	大会 50 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	1,955,100	68 号 336,000 円、69 号 472,500 円、70 号 1,146,600 円
関 係 団 体 分 担 金	136,000	136,000	推進連盟 91,000 円、美術展 40,000 円、日肢教研 5,000 円
渉 外 費	80,000	41,750	他団体祝金、周年行事出席、香典等
地 区 助 成 費	420,000	420,000	70,000 円×6 ブロック
交 通 費	450,000	207,300	会長・事務局員大会参加費、一般交通費
通 信 費	650,000	645,527	電話代、郵券、会報郵送費、会費振り込み代、宅急便代
事 務 局 運 営 費	2,300,000	2,462,912	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>支払い等
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	別掲内訳
社会福祉医療助成費	0	0	平成 15 年度は実施なし
事 務 用 品 費	150,000	120,335	封筒、消耗品、一般文書印刷等
備 品 費	100,000	86,010	パソコン関連等
雑 費	30,000	55,101	貸し金庫使用料等
予 備 費	331,523	1,050	ゴミ処理代
50 周年用別会計	—	200,000	50 周年記念大会口座へ
次 年 度 繰 越 金	—	534,974	
合 計	9,337,523	9,453,665	

国庫補助事業費内訳

	項 目	15 年度予算	15 年度決算	適 用
国庫補助事業	保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	全国大会 (沖縄) 鏡が丘養
		30,000	30,000	関東・甲越ブロック 松戸養
		30,000	30,000	東京 城北養
	ボランティア研修会	50,000	50,000	北海道・東北ブロック 真駒内養
		50,000	50,000	九州ブロック 別府養
	在 宅 重 度 障 害 児 集 団 療 育 事 業	400,000	400,000	中部ブロック こまどり養
		400,000	400,000	近畿ブロック 甲良養
		400,000	400,000	中国・四国ブロック 広島養
		合 計	1,390,000	1,390,000

特 別 会 計

平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 15 年 3 月 27 日	200,000 円
利 息	平成 16 年 2 月 23 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 16 年 3 月 18 日	200,000 円
合 計		400,001 円

決 算 報 告

上記のとおり平成 15 年度の収支決算を報告いたします。

平成 16 年 3 月 31 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会

会 長 村 上 節 子 ㊟

会 計 津 久 井 孝 子 ㊟

会 計 監 査 報 告

平成 16 年 5 月 10 日 監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 15 年 5 月 10 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会

監 事 神 山 寛 ㊟

監 事 阿 部 紀 久 代 ㊟

(書の部) 北海道札幌市立山の手養護学校

三田村 亜衣氏

(絵画の部) 沖縄県立鏡が丘養護学校

仲村 亜里沙氏

(6) その他

- 各地区主催の肢体不自由養護学校PTA連合会及び校長会合同研究会への参加
関東・甲越ブロック…第39回関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究協議会
主管校(群馬県立あさひ養) 7月27日～28日
- 第27回日本肢体不自由教育研究大会への参加 8月7日～8日 東京都江戸川区総合区民ホール
- 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
特殊教育免許の総合化に関するワーキンググループへの参加
- 内閣府主催 平成15年度「障害者の日」記念の集いへ出席 12/9 有楽町朝日ホール
- NHKハート展 開会式出席 3月25日 日本橋三越本店
- 周年行事・慶弔等
東京都立村山養護学校 30周年記念式典 9月30日
東京都立北養護学校 40周年記念式典 11月28日
全国特別支援教育推進連盟「感謝の集い」 12月4日
全国肢体不自由児・者父母の会連合会 常務理事 上野義雄様 葬儀 2月27日
全国肢体不自由養護学校PTA連合会 顧問 有田孝様 葬儀 3月30日

7. 関係友好団体への後援

- 日本肢体不自由教育研究大会
- 全国肢体不自由児・者父母の会連合会全国大会
- てんかん協会・てんかん学基礎講座(協賛名義使用)、全国大会(協賛名義使用)
- 関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究協議会
- 中部地区肢体不自由教育研究協議会
- 日本肢体不自由児協会主催「肢体不自由児・者の美術展」

8. 「全肢P連安心補償制度」加入状況

(制度引受会社 株式会社損害保険ジャパン)

平成15年度 846件

保険手数料 308,695円

9. 紙おむつ団体扱い購入の手数料について

リブドゥコーポレーション 89,452円

大王製紙(セイノー商事) 17,975円

計 107,427円

表彰者の確認

感謝状

全国肢体不自由養護学校PTA連合会前副会長 能瀬 廉 英 様

〃 香川 司 恵 様

なお、能瀬廉英様には本会の規約の第16条及び細則第5条

(2)、同6条(3)により総会において顧問の承認を得ました。

平成16年度事業計画

1. 総会及び研究大会

平成16年8月21日(土)～23日(月)

於：京王プラザホテル札幌

札幌市中央区北5条西7丁目2-1

電話 011-271-0111

主 題 『21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育及び社会づくりの推進のためPTA活動はどうあればよいか』

- (1) 分科会 第1分科会 「学校との連携」
第2分科会 「地域との連携」
第3分科会 「進路確保A(地域・施設等)」
第4分科会 「進路確保B(就労・進学等)」
第5分科会 「機器の利用」
第6分科会 「医療との連携」

(2) シンポジウム

【テーマ】

『豊かなライフステージをめざし、一貫した支援を考える』

～「個別の教育支援計画」作成のための家庭、教育、福祉、労働、医療等の連携はいかにあるべきか～

《コーディネーター》

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所理事長

細村 迪夫氏

《指定討論者》

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官 古川 勝也氏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害福祉専門官 渡 邊 雅 浩氏

厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部障害者雇用対策課障害者雇用専門官 小 嶋 文 浩氏

《シンポジスト》

旭川肢体不自由児総合療育センター院長

長 和彦氏

札幌市中央区サポートセンター「い～ない～ず」代表

大久保 薫氏

北海道真駒内養護学校教諭 相 蘇 敏氏

北海道白糖養護学校PTA会長 田 中 忠 昭氏

2. 役員会

(1) 平成16年8月21日(土)

於：京王プラザホテル札幌

(2) 平成17年1月27日(木)

於：全国心身障害児福祉財団 4F会議室

3. 会報の発行

(1) 第71号 会報 平成16年7月10日 20,000部発行

(2) 第72号 会報 平成16年10月15日 20,000部発行

(3) 第73号 会報 平成16年12月15日 10,000部発行

<全国大会(北海道大会)特集号>

4. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

大会

北海道・東北ブロック

中部ブロック

東京都

北海道拓北養

石川県立石川養

東京都立村山養

《ボランティア研修会》

近畿ブロック

中国・四国ブロック

京都府立丹波養

岡山県立岡山養

《在宅重度障害児集団療育事業》

北海道・東北ブロック

関東・甲越ブロック

九州ブロック

北海道旭川養

神奈川県立平塚養

宮崎県立延岡養

【社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

開催会場

●弥彦 (9/4～5) ●函館 (10/16～17)

●立川 (11/12～13) ●岸和田 (12/18～19)

●松山 (2/5～6) ●小倉 (3月予定)

《ふれあいの輪をひろげる子どもたちフェスティバル》

平成17年3月26日、松山にて開催予定

5. 関係団体事業および行事への参加

- (1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加要請
- (2) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加
- (3) 全国心身障害児福祉財団父母連絡会等への参加
国庫補助事業、日本自転車振興会事業などの説明会
- (4) 肢体不自由児・者の美術展（社会福祉法人日本肢体不自由児協会）への協力、運営委員会、審査会への参加ならびに全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与
12月10日（金）東京芸術劇場にて常陸宮殿下ご臨席のもとで表彰式
（書の部）（絵画の部）

(5) その他

- 関係友好団体及び各地区主催の地区大会への後援
- 各地区主催の肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究協議会へ参加
- 日本肢体不自由教育研究大会への参加
- 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会専門委員として参加

表彰者の確認と顧問の推薦

感謝状

全国肢体不自由養護学校PTA連合会前会長

村上節子様

全国肢体不自由養護学校PTA連合会前副会長

仲里秋子様

顧問の推薦

本会の規約に基づき 村上節子様を平成16年8月21日の役員会で顧問に推薦、総会で承認を得る。



全国心身障害児福祉財団事業実施地区割り当て

年 度			平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
国庫補助事業	保護者研修会	3回	大会（北道・北東） 中 部 東 京	大会（関東・甲越） 北海道・東北 東 京	大 会（中部） 中国・四国 東 京	50周年記念大会（近畿） 九 州 東 京	大会（中国・四国） 近 畿 東 京
	ボランティア研修会	2回	近 畿 中国・四国	関 東・甲 越 中 部	北海道・東北 九 州	近 畿 中国・四国	関 東・甲 越 中 部
	在宅重度障害児集団療育事業	3回	北海道・東北 関 東・甲 越 九 州	中 部 近 畿 中国・四国	北海道・東北 関 東・甲 越 九 州	中 部 近 畿 中国・四国	北海道・東北 関 東・甲 越 九 州

*当該年度の事業のブロック別分担は、定められた順番で進めており、ブロック毎に担当の学校を4月中旬頃を目途に決定して、各ブロック事務局より本部事務局まで連絡して頂いています。

なお、ブロックによっては総会によって決まるなどの連絡が入りますが、財団へ提出する書類が5月中ですので内定の段階で連絡をお願いしています。

平成16年度 会 計 予 算

<収 入>

単位 円

項 目	15年度予算	16年度予算	摘 要
前年度繰越金	738,173	534,974	
会 費	5,950,350	5,904,150	350円×16,869人 在籍児童生徒数(分担金)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金(会報第73号大会号1,146,000円の内補助分)
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	別掲内訳
社会福祉医療助成費	0	0	平成16年度は実施予定はありません
寄 付 金	—	—	
雑 収 入	400,000	400,000	保険手数料、オムツ手数料、利息等
合 計	9,337,523	9,088,124	

<支 出>

項 目	15年度予算	16年度予算	摘 要
会 議 費	450,000	400,000	大会20万円、役員会5万円×2、その他会議室代等
研 修 費	850,000	750,000	大会50万円、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	2,000,000	71号、72号会報代、73号会報代1,146,600円
関係団体分担金	136,000	136,000	推進連盟91,000円、美術展40,000円、日肢教研5,000円
渉 外 費	80,000	50,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典等
地 区 助 成 費	420,000	420,000	7万円×6ブロック
交 通 費	450,000	350,000	会長・事務局員大会参加費、一般交通費、会長他大会参加費
通 信 費	650,000	650,000	電話、郵券、会報郵送費、会費振り込み代、宅急便代
事務局運営費	2,300,000	2,480,000	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>支払い
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	別掲参照
社会福祉医療助成費	0	0	平成16年度は実施予定はありません
事務用品費	150,000	150,000	封筒、消耗品、一般文書印刷等
備 品 費	100,000	80,000	パソコン関連等
雑 費	30,000	30,000	貸し金庫使用料等
予 備 費	331,523	2,124	
50周年用別会計	—	200,000	50周年記念大会口座へ
合 計	9,337,523	9,088,124	

国庫補助事業費内訳

	項 目	15年度予算	16年度予算	適 用	
国庫補助事業	保護者研修会	30,000	30,000	全国大会(北海道) 拓北養	
		30,000	30,000	中部ブロック 石川県立養	
		30,000	30,000	東京 村山養	
	ボランティア研修会	50,000	50,000	近畿ブロック 丹波養	
		50,000	50,000	中国・四国ブロック 岡山養	
	在宅重度障害児 集団療育事業	400,000	400,000	北海道・東北ブロック 旭川養	
		400,000	400,000	関東・甲越ブロック 平塚養	
		400,000	400,000	九州ブロック 延岡養	
		合 計	1,390,000	1,390,000	

平成 16 年度 全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会役員

役職名	氏 名	所 属	ブロック	備 考	
会 長	木 村 知 鶴	東京都立小平養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	全 肢 長 会 長 都 肢 P 連 会 長 ブ ロ ッ ク 長 大 会 実 行 委 員 長 ブ ロ ッ ク 長 ブ ロ ッ ク 長 ブ ロ ッ ク 長 ブ ロ ッ ク 長 ブ ロ ッ ク 長	
副 会 長	伊 東 光 雄	東京都立光明養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
〃	柴 田 あ き い	東京都立多摩養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	皿 谷 康 廣	山形県立ゆきわり養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	本 宿 和 江	北海道拓北養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	和 田 宏 子	千葉県立松戸養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	上 村 照 美	岐阜県立岐阜希望が丘養護学校 P T A 会長	中 部		
〃	野 村 恵 美 代	大阪市立西淀川養護学校 P T A 会長	近 畿		
〃	佐 古 淳 子	山口県立周南養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国		
〃	関 一 郎	熊本県立松橋養護学校 P T A 会長	九 州		
理 事	木 村 知 鶴	東京都立小平養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	大 会 主 管 校 会 長 大 会 主 管 校 校 長 次 期 大 会 主 管 校 会 長 次 期 大 会 主 管 校 校 長	
〃	伊 東 光 雄	東京都立光明養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
〃	柴 田 あ き い	東京都立多摩養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	皿 谷 康 廣	山形県立ゆきわり養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	遠 藤 正 男	山形県立ゆきわり養護学校 校長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	本 宿 和 江	北海道拓北養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	武 石 詔 吾	北海道拓北養護学校 校長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	和 田 宏 子	千葉県立松戸養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	土 岐 章 夫	千葉県立松戸養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
〃	中 根 登 紀 子	埼玉県立越谷養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	稲 葉 一 美	埼玉県立越谷養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
〃	上 村 照 美	岐阜県立岐阜希望が丘養護学校 P T A 会長	中 部		
〃	箕 浦 甫 佐 子	岐阜県立岐阜希望が丘養護学校 校長	中 部		
〃	野 村 恵 美 代	大阪市立西淀川養護学校 P T A 会長	近 畿		
〃	酒 井 修 一 郎	西宮市立西宮養護学校 校長	近 畿		
〃	佐 古 淳 子	山口県立周南養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国		
〃	野 村 敏 之	広島県立広島養護学校 校長	中 国 ・ 四 国		
〃	関 一 郎	熊本県立松橋養護学校 P T A 会長	九 州		
〃	桑 原 孝 二	熊本県立松橋養護学校 校長	九 州		
評 議 員	石 黒 恵 子	北海道真駒内養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	山 田 規 美 江	北海道真駒内養護学校 校長	北 海 道 ・ 東 北		
〃	加 藤 富 美 子	埼玉県立川島ひばりが丘養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越		
〃	平 田 節 雄	埼玉県立川島ひばりが丘養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
〃	寺 島 由 紀 夫	富山県立富山養護学校 P T A 会長	中 部		
〃	山 本 武 彦	愛知県立豊橋養護学校 校長	中 部		
〃	伊 藤 文 子	明石市立明石養護学校 P T A 会長	近 畿		
〃	鈴 木 茂 和	大阪市立西淀川養護学校 校長	近 畿		
〃	杉 本 久 典	高知県立高知若草養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国		
〃	加 藤 秋 美	高知県立高知若草養護学校 校長	中 国 ・ 四 国		
〃	興 梶 律 子	宮崎県立延岡養護学校 P T A 会長	九 州		
〃	戸 高 豊 秀	宮崎県立延岡養護学校 校長	九 州		
監 事	森 泉 由 美 子	東京都立城南養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	都 肢 P 連 副 会 長	
〃	伴 享 夫	東京都立城北養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越		
事 務 局 長	津 久 井 孝 子	全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会事務局内			
事 務 局 次 長	石 井 利 恵	全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会事務局内			

全肢P連顧問名簿

氏名	役名
埜野 兪	S 50年度～S 53年度 会長（都立光明）
西村 悠夫	S 54年度～S 55年度 会長（都立江戸川）
西端 工	S 56年度～S 57年度 会長（都立城南）
前田 清	S 58年度～S 59年度 会長（都立光明）
高本 和昌	S 63年度～H 2年度 会長（都立城南）
永島 弘子	H 3年度 会長（都立北）
鈴木 盛雄	H 4年度～H 7年度 会長（都立光明）
谷口 篤	H 8年度～H 12年度 会長（都立北）
佐竹 京子	H 13年度 会長（国立筑波大附属桐が丘）
村上 節子	H 14年度～H 15年度 会長（都立城北）
早瀬 俊夫	S 47年度 全肢長会長
中島 秀夫	S 54年度～S 58年度 全肢長会長
石川 昌次	S 59年度～S 60年度 全肢長会長
三浦 和	S 61年度～H 元年度 全肢長会長
青柳 勝久	H 4年度～H 5年度 全肢長会長
鈴木 峻	H 6年度～H 8年度 全肢長会長
林 友三	H 9年度～H 11年度 全肢長会長
今里 勉	H 12年度 全肢長会長
飯野 順子	H 13年度 全肢長会長
能瀬 廉英	H 14年度 全肢長会長
福地 周一	元今津養護PTA会長

有田 孝	S 60年度～S 62年度 会長（都立大泉）
------	---------------------------



GOO.Nだけのベビー用と大人用の中間サイズ

ベビー用紙おむつだと小さいし、
大人用紙おむつだと大きいし…
そんな悩みを解消した中間サイズの紙おむつが、
グーンスーパーBIGです。

テープ止めタイプ



適応範囲の目安

ウエストまわり 50～70cm
体重 15～35kg
脚回り 23～48cm
吸収量 おしっこ約4回分
※当社調べ

パック枚数 28枚
ケース入数 4パック

パンツタイプ



適応範囲の目安

ウエストまわり 50～70cm
体重 15～35kg
脚回り 24～52cm
吸収量 おしっこ約4回分
※当社調べ

パック枚数 18枚
ケース入数 4パック

●GOO.N スキップパンツ BIGより大きいサイズ

～スーパーBIGパンツタイプではやや大きいという方へ～



適応範囲の目安

ウエストまわり 48～63cm
体重 13～25kg
脚回り 21～50cm
吸収量 おしっこ約3.5回分
※当社調べ

パック枚数 18枚・28枚・36枚
ケース入数 6パック・4パック・3パック

※上記は28枚です。パンツタイプのみとなります。

宅配によるご購入をご希望の方へ

お電話または、インターネットにてスーパーBIGをケース単位で購入できます。

- 対象商品：スーパーBIG テープ止めタイプ、スーパーBIGパンツタイプ
- 商品価格：8,000円/ケース（消費税・配達費込み 沖縄・離島は別途運賃加算）
- ご注文先：お電話にて（株）セイノー商事 0120-888-571 までお申し込みください。

または、http://www.babygoo-n.com/frm_goods.html にアクセスして申し込みください。

※ホームページによる宅配サービスは11月より受け付け致します。
※BIGより大きいサイズについてはホームページ上のみでの受け付け致します。

〒162-0042
東京都新宿区早稲田町70-1
お客様相談室 TEL 0120-205-205（受付時間 9:30～16:30）
リエールホームページアドレス <http://www.elleair.co.jp>



大王製紙株式会社

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会規約

第一章 名 称

第 1 条 この会は全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会といい、事務所をこの会の定める場所におく。

第二章 目的及び活動

第 2 条 この会は肢体不自由養護学校 P T A 相互の協調をはかるとともに、全国における肢体不自由教育の向上発展を促進することを目的とする。

第 3 条 この会は前条の目的をとげるために次の活動をする。

1. 各単位 P T A の連絡、協調につとめ、会員相互の親睦を図る。
2. 肢体不自由者の福祉増進につとめる。
3. 肢体不自由教育の発展向上を促進する。
4. 肢体不自由教育費を拡充することにつとめ、またこの教育に関する諸法規の整備に協力する。
5. その他この会の目的を達するために必要な活動をする。

第三章 方 針

第 4 条 この会は教育を本旨とする民間団体であって、次の方針に従って活動する。

1. この会の目的を達するために、他の団体及び機関と協力する。
2. 特定の政党や派にかたよることなく、またもっぱら営利を目的とするような行為は行わない。

第四章 構 成

第 5 条 この会の会員は全国の肢体不自由養護学校の単位 P T A とする。

第 6 条 この会を構成する単位 P T A は分担金を納めるものとする。

第 7 条 この会を構成する単位 P T A は平等の義務と権利を有する。

第五章 役 員

第 8 条 この会に次の役員を置く。

1. 会 長 1 名
1. 副会長 若干名

1. 理 事 19 名以内

1. 監 事 2 名

1. 評議員 12 名

第 9 条 会長および副会長は理事会において互選し総会の承認を受ける。

第 10 条 理事は各ブロックの会員の推薦により各 2 名宛選出する。

但し、ブロックに関係なく在京の会員より 1 名、大会開催関係都道府県より 4 名以内を選出する。

第 11 条 評議員は、各ブロックの会員の推薦により 2 名宛選出する。

第 12 条 監事は理事、評議員以外の会員中より総会において選出する。

第 13 条 役員任期は 1 年とする。但し、重任を妨げない。

第 14 条 役員任期は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総覧する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 理事は会長・副会長を補佐し、会務を処理する。
4. 評議員はこの会の重要事項を審議する。
5. 監事はこの会の経理を監査する。

第 15 条 この会に事務局を設ける。事務局は、事務局長・庶務・会計各 1 名をもって構成し、人事は理事会にはかり、会長が委嘱する。

第 16 条 理事会の推薦により顧問をおくことができる。

第六章 会 議

第 17 条 総会はこの会の最高決議機関であり、事業報告・決算の承認、事業計画・予算の審議及び承認、役員承認ならびに規約の改正、その他重要事項を審議する。

第 18 条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

1. 定期総会は毎年 1 回開催する。
2. 会長が必要と認めるとき、または会員の 1/3 以上の要求があったとき臨時総会を開く。

第 19 条 総会は会員の過半数の出席を以て成立

し、決議は出席者の 2/3 以上の同意を必要とする。

第 20 条 理事会は必要に応じて開き、会長はこれを招集する。

第 21 条 理事会は、次のような会務を処理する。

1. 本会の重要事業を企画審議する。
2. 総会に提出する報告書の議案を作成する。
3. その他事業の推進に関すること。

第 22 条 評議員会は必要に応じ随時開き、会長はこれを招集する。

第 23 条 評議員会は次のような事項を審議する。

1. 総会及び理事会から委嘱された事項の審議。
2. その他必要な事項。

第七章 経 理

第 24 条 この会の経費は分担金、寄付金及びその他の収入によって支弁する。

第 25 条 単位 P T A の分担金は、別に定める規定により毎年 5 月に納入する。

第 26 条 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月 31 日に終わる。

第八章 付 則

第 27 条 この規約は総会の議決を経なければ変更することはできない。

第 28 条 この会の運営に関しては、別に細則を定める。

第 29 条 本規約は昭和 40 年 5 月 25 日より実施する。

第 30 条 本規約は昭和 50 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は昭和 60 年 8 月 23 日より一部改正する。

本規約は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本規約は平成元年 8 月 24 日より一部改正する。

本規約は平成 4 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は平成 6 年 8 月 23 日より一部改正する。

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会細則

第 1 条 規約第 25 条に定める単位 P T A の分担金は、当分の間児童生徒一人あたり、年額 350 円の割とする。

但し、特別の事情のある場合は免除又は減額することができる。

第 2 条 当分の間、ブロックは次の通りとする。「北海道・東北」「関東・甲越」「中部」「近畿」「中国・四国」「九州」

第 3 条 各ブロックより選出される理事及び評議員は、それぞれ父母側 1 名、教師側 1 名とする。

第 4 条 本会と緊密な関わりのある関係諸団体など、または、個人に対する慶弔または寸志などは、その都度、会長が副会長および事務局長にはかり決定する。

第 5 条 規約第 16 条における顧問は、原則と

して次の基準によって推挙するものとする。

- (1) 本会の会長歴任者
- (2) 全国肢体不自由養護学校長会長歴任者
- (3) その他、役員会が推薦するもの

第 6 条 本会は総会において次の表彰を行う。

- (1) 本会の会長が退任したとき(感謝状)
- (2) 本会ならびに全国肢体不自由養護学校長会合同研究大会(全国大会)開催主管校の P T A 会長(感謝状)
- (3) 全国肢体不自由養護学校長の歴任者が、本会の副会長を退任したとき
- (4) その他、役員会が推薦するもの

第 7 条 本細則は昭和 40 年 5 月 25 日より実施する。

第 8 条 本細則は昭和 53 年 8 月 8 日より一部改正する。

本細則は昭和 55 年 8 月 21 日より一部改正する。

本細則は昭和 56 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は平成 2 年 8 月 23 日より一部改正する。

本細則は平成 8 年 8 月 22 日より一部改正する。

大会決議文を国の関係機関に提出

9月16日(木)、当会の木村会長、事務局の津久井、石井と全肢長会長の伊東校長(都立光明養護学校長)とで、文部科学省へ北海道大会ご出席のお礼を兼ねて、『全国大会決議文』をお届けに上がりました。古川調査官のご配慮により特別支援教育課長の山下和茂様に直接お渡しする事が出来ました。併せて、関東甲越ブロック長の和田会長と同学校長の土岐校長も関東・甲越ブロック大会の決議文を和田会長からお渡し致しました。なお、厚生労働省社会・援護局と職業安定局へは、郵送にてお届けしました。

また、全国特別支援教育推進連盟の第三回理事会(10月5日)において、木村会長より北海道大会への理事長ご出席の御礼と大会開催の報告を致しました。

決議文

我が国における現在の障害者施策は「障害者対策に関する新長期計画」において進められてきたが、その後、平成15年からの10年間を見通した障害者関連施策の基本的な方向を盛り込んだ新しい「障害者基本計画」が閣議決定され、前半5年間において「重点施策実施5ヵ年計画(新障害者プラン)」が示された。また現在、平成15年3月の「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」をふまえて中央教育審議会初等中等分科会特別支援教育特別委員会において特別支援教育の法制度等について審議が行われている。

このような動向をふまえ、乳幼児期から生涯にわたり、障害のある子ども達一人一人のニーズに応じて支援を行うために教育・育成分野の施策に基づき、「個別の支援計画」を策定するべく、国の施策に基づいた都道府県での諸事業が進められている。これからは、特殊教育から特別支援教育への意識の転換、教育・福祉・医療・労働等の関係機関相互の連携体制が新たな課題となる。私たちは、障害のある者とならない者が、互いに人格と個性を尊重し支えあう共生社会となることを目指して、これまで以上に理解啓発や教育の充実に努める必要がある。

この度、全国肢体不自由養護学校PTA連合会ならびに全国肢体不自由養護学校長会は、8月22日・23日の両日、北海道札幌市においてPTA・校長会合同研究大会『北海道大会』を開催し「21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか」を主題に研究協議を重ねた。本大会の総意をもってPTA会員ならびに校長会は、次の事項の実現に向けて会員一人一人が支援者の一人として積極的に努力し、関係各方面に諸問題への啓発と解決に尽力されるよう積極的に働きかけることを決議する。

- 一 乳幼児期から生涯における教育・福祉・医療・労働等の関係機関が適切な支援を行う「個別の支援計画」の策定、保護者に対する効果的な相談支援体制の構築等の一貫した相談・支援体制の充実に努める。
- 一 医療的ケアを必要とする児童生徒の指導体制充実にために、校内に看護師の配置、看護師を中心とした実施要項の策定、医療との協力体制の整備を図る。
- 一 児童生徒の個々の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」を策定し、計画の実施、評価を通して、特別支援教育の充実に努める。そのための障害種別を越えた特殊教育に係る教員免許制度の改善(免許状の保有率向上を含む)、特別支援教育コーディネーターの資質の確保、専門性豊かな教員の育成および研修の充実に努める。
- 一 最新情報技術(IT)を活用し、学習支援や生活の質「QOL」の向上に生かせるように情報機器(パソコン等)の整備と機器(ソフトウェアを含む)の開発等の充実に努め、指導員の育成を推進する。
- 一 障害のある者が社会参加や自立生活が出来るように各分野行政連携でのガイドライン作成を推進し、地域生活を支える社会福祉の整備と事業の充実に努める。

平成16年8月23日

全国肢体不自由養護学校PTA連合会
全国肢体不自由養護学校長会

具体的要望事項

1. 乳幼児期から学校卒業後まで「教育・福祉・医療・労働」の一貫した支援体制の促進
 - 養護学校が地域において、小・中学校等に対する教育等の支援および多様なニーズに対応する特別支援教育のセンター的機能を促進して下さい。
 - 教育と療育との関わりを充実および促進するために文部科学省と厚生労働省との枠を超えた協議を継続して下さい。
 - 文部科学省の平成15年度までの研究成果をふまえた、3つの行為(咽頭前の吸引、留置されている管からの注入による経管栄養、自己導尿の補助)に関する教員、看護師、保護者の連携体制をさらに確立して下さい。
 - 未就学児等の日常生活訓練の場として、障害児通園(デイサービス)事業の整備、促進をして下さい。
2. 児童生徒の障害の重度重複化等に対応する教育的支援体制の整備・充実
 - 教員、保護者および関係機関の共通理解のもとで「個別の

教育支援計画」を作成し、一人一人に応じた指導を進めて下さい。

- 医療的ケアを必要とする児童生徒の教育支援のため、医療と教育の連携を医師、看護師、教員、保護者の相互理解のもとに進めて下さい。
- 障害種にとらわれない学校制度に対応できる専門性豊かな教員の育成、および特殊教育の免許状保有率の向上を促進して下さい。
- 独立行政法人国立特殊教育総合研究所における特殊教育の専門的な研修等を積極的に推進し、特別支援教育コーディネーターの資質の確保と教員の専門性・資質の向上を図って下さい。
- 最新情報技術（IT）を活用し、学習支援や生活の質（QOL）の向上になるように情報機器（パソコン等）の整備と肢体不自由児・者が使える機器（ソフトウェアを含む）の開発および指導員の育成をして下さい。
- 養護学校高等部の設置促進、および養護学校訪問教育を整備、充実して下さい。
- 居住地域での、障害のある子ども達と障害のない子ども達が交流活動を通して共に理解しあう機会を促進して下さい。

3. 児童生徒の社会参加と自立支援の促進

- 卒業後の自立や社会参加に向けて個別の移行支援計画を策定し、個々のニーズに応じた福祉的な支援の整備、および肢体不自由者の就労が実現するような支援を促進して下さい。
- 社会参加や自立生活がしやすいように、地域生活を支える社会福祉（ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプ事業）の体制、および居住地域にグループホーム等を促進して下さい。
- 重症心身障害児・者の通園事業を促進し、医療的ケアの必要な障害児・者も地域で生活が出来るよう、サービス事業の整備を促進して下さい。
- 公共の施設において障害のある者もない者も施設を利用しやすいようにバリアフリー化の促進、ならびに市区町村における障害者計画については具体的な施策を進めて下さい。

国立特殊教育総合研究所へ 行って参りました

会長 木村 知鶴

9月27日（月）に、平成16年度の全肢P連北海道大会に、ご来賓およびシンポジウムのコーディネーターとしてご参加いただきました独立行政法人国立特殊教育総合研究所理事長の細村迪夫先生の処へ、大会ご参加のお礼を兼ねて研究所の見学に、私木村と津久井事務局長、石井事務局次長とともに行って参りました。この日は、あいにくの雨模様の日でしたが大変有意義な時間を過ごすことができました。

細村先生から特総研について、3年間かけた組織面の大改革などのお話をいただいた後、先生自ら案内して頂きながら建物内を見学致しまして、大変恐縮致しました。

建物は耐震工事が済んだところでとても綺麗でしたが、内部もその組織面の改革に添って工夫して作り直したりと、ソフト面の改革に建物というハード面の改革も一緒に進められて大変良かったとお伺い致しました。

私たち保護者は、特殊教育から特別支援教育へと変わる中で教員の専門性・資質の向上、コーディネーターの育成などの必要性は大変重要なことと考えており、また障害のある児童生徒にとっては、先生方がより豊かな知識と情報を持って接して下さる事も個別の支援教育を進めるにあたりとても大切な事と思っております。

このように特総研がソフト面とハード面の両方を大きく改革し組織がより一層充実した事により、今まで以上に重要な研究機関としての役割を果たして下さると考え、国立特殊教育総合研究所が益々発展していられる事を願っております。

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所
ホームページ <http://www.nise.go.jp/>

全国肢体不自由児養護学校PTA連合会
全国肢体不自由養護学校長会

推薦 **全肢P連安心補償制度！**

お子さまのためのワイド&ビックな3大補償

1 傷害見舞金 2 育英費用 3 ホームヘルパー費用 **プラス** 他人への損害賠償責任

年間制度掛金 { けがによる通院特約なし 6,000円 }
" あり 7,830円 }

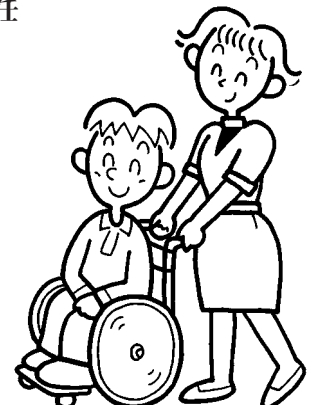
年間を通じてお申し込みいただけます

制度引受会社
株式会社損害
保険ジャパン

お問い合わせ・事故のご連絡は

全肢P連安心補償制度事務局

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目2番8号
TEL 0120-313186 FAX 0120-090027



お気軽にお電話ください。もちろん通話料は無料です。



ポータルサイト「障害のある子どもの教育の広場」
<http://www.nise.go.jp/portal/>

お知らせ

本部事務局には《肢体不自由の児童・生徒》の養護学校PTA連合会という事もあって、様々な情報が入ってきます。そういった情報の中から保護者の方々にお役に立つと思われる情報は、出来るだけお届けする事を心がけております。

全国大会の大会要項への広告や、大会会場での展示など(オムツ替え用のベッドを開発したTOTO、中間サイズの紙オムツの配布および展示をしているリブドゥや大王製紙、嚙下の難しいお子さん用の食品関係品を試食や展示で紹介しているヘルシーフード、日産自動車の福祉車両の案内)の方法の他に、毎年2回事務局で発行する会報に各社の製品などの紹介を掲載する事によって、より新しい情報をお届け出来ると思っております。今回も何社か掲載しておりますので参考にさせていただきます。

なお、今年度も11月末頃に例年通り大王製紙のエリエールより各校に《中間サイズの紙オムツ》の試供品が届きます、届きましたらお子さんの鞆に入れて頂きまして保護者の方への周知をお願いしたいと思っております。

(事務局長 津久井 孝子)

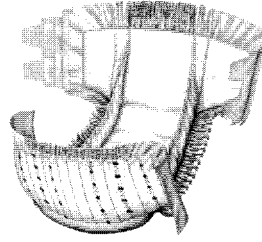
リブドゥ テープ止めタイプ ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

スキマのモレをガードします

ヒップサイズ

50cm~80cm

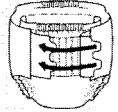


消臭ポリマー配合

- 身体の丸みにあわせてカタチ
- 左右に広げた立体ギャザー
- 前後のしっかりガードギャザー
- 強度のある粘着テープ

優れたポイント

ヒップサイズが小さい方には、白いテープの上に重ねてつけられるので、より身体にフィットします。



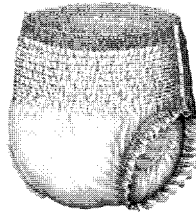
リブドゥ はくパンツ 男女兼用 ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

安心のたっぷり吸収
やわらかくはきやすい

ウエストサイズ

45cm~60cm



消臭ポリマー配合

- しっかりガードギャザー
- パッドピットリゾーン
- 吸収量大幅アップで安心
- ソフトギャザー
- 全面通気シート
- ふんわりやわらか素材

商品に関するお問い合わせは

(株)リブドゥコーポレーション お客様相談室 フリーダイヤル:0120-271-361

□サンプル請求
□宅配購入 をご希望の場合は

まごころサポート フリーダイヤル:0120-062-055
((株)ハーベスト) お申し込みの際「養護学校生」とお伝えください。

- テープ止めタイプジュニア 1袋(34枚入)…2,780円 ※いすれも消費税込み
- はくパンツジュニア 1袋(24枚入)……………1,980円



株式会社 リブドゥコーポレーション
〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号

スピードおさえて、いい運転。シートベルトとチャイルドシートを忘れずに。

日産自動車グループは、福祉車両に対して積極的に取り組んでいます。

セレナ チェアキャブ
スロータイプ



LV
Life care Vehicle

ライフケアビークルの
お問い合わせは

株式会社 オーテックジャパン

〒253-8571 神奈川県茅ヶ崎市萩園824-2

0120-11-6527

月~金(祝日を除く) 9:00~12:00/13:00~17:00

<http://www.autech.co.jp/LV/>



キューブ チェアキャブ
スロータイプ

SHIFT_the future

日産自動車グループでは、生活のいろいろなシーンでお役に立ちたいとの意味を含め、福祉車両を「ライフケアビークル」LV (Life care Vehicle) と呼んでいます。

新設校・新加入校紹介

本年度は、北海道、愛知県に肢体不自由養護学校が新たに設置され、京都市では養護学校が総合養護学校として5校が再編された事により、1校が新設され2校が新たに加入いたしました。どうぞよろしくお願い致します。

北海道札幌市立北翔養護学校

地域に根ざした養護学校づくり

本校は、札幌市立豊成養護学校の中等部・高等部が分離独立し、札幌市の西部、住宅地に囲まれた発寒地区に平成16年4月1日に誕生しました、道内で10番目の肢体不自由養護学校です。豊成養護学校は小学部のみ養護学校となり、北翔養護学校は中等部・高等部の養護学校となりました。札幌市内の重度重複の肢体不自由児を対象としており、タクシーと自家用車で保護者とともに通学しています。

今年度の生徒数は、中学部14名、高等部14名の計28名(半数近くの生徒が医療的ケアを必要としています)、教職員は62名で運営されています。市から派遣されているPT4名、OT2名の技術職員とPT有資格者1名の教諭を療法スタッフとし、呼吸の改善から身体機能の向上まで自立活動として幅広く活躍しています。

今年度から文部科学省のモデル事業として看護師1名(週30時間勤務)が配置され、医療的ケアに従事してもらっています。給食は生徒の実態に合わせて普通食から裏ごしまでの5段階に分けて提供しています。

教室は学部ごとに1階部分に、管理部門を2階部分に分けて置いています。その他、温水プール・療法室・スノーブレン教室・教材制作室・体育館・遊歩道等があります。1階は冷暖房完備で、冬季は廊下や体育館を含めて床暖房にすることができます。

設計段階から地元の皆さんに親しんでもらおうと校地内に遊歩道を設けました。地域の方々々がベンチに座って休憩する姿がよく見られるようになりました。4月上旬に設けた学校見学会には200人以上、オープニングフェスタには300人以上の町内会の皆さんが参加してくれました。本校の生徒が学校近隣を散歩しているときに言葉をかけてもらえること、ショートタイム(中学部・高等部合同の総合的な学習の時間)やノースジャンプ祭り(学校祭)において地元の皆さんとの交流ができるように計画・実施しております。

また、昨年度から札幌市が推進している「地域学習校」においても、本校中等部の生徒が、居住している中学校との交流を進めています。

高等部卒業後の進路先が段々狭まってきています。現在、札幌地区の3つの肢体不自由養護学校において、卒業生の通所施設を含めた進路の開拓が大きな課題となっています。

(校長 伊藤俊視)

〒063-0831 札幌市西区発寒11条6丁目2-1
TEL 011-668-5161 FAX 011-668-5163

愛知県立ひいらぎ養護学校

高等学校との日常的な交流を目指す

平成16年4月、愛知県立ひいらぎ養護学校が開校しました。県内8校目の肢体不自由養護学校です。本校は、知多地区及び西三河西部地区に在住する肢体不自由児の通学時間の短縮を図ることなどを目的として、知多半島の中心に位置する半田市にある県立半田高校昼間定時制跡地を活用して建設されました。

私鉄駅にも近い上、閑静な文教地域にあり、恵まれた教育環境にあります。小学部34名、中学部24名、高等部24名、合計82名の児童生徒の多くが3台のスクールバスで通学しています。

ここでは、本校の特色を二つ紹介します。

1 バリアフリーに配慮した最新の施設設備

運動広場を中心にして「ロの字」に設計された校舎はバリアフリーに配慮され、トイレ等は障害に配慮した最新のデザインになっています。また、玄関フロアー・廊下等は明るくゆたかりとして、心地よい空間になっています。主な施設設備は次のとおりです。

教室棟の全室冷暖房完備・温水プール・普通教室24・特別教室14・通学バス3台(すべてリフト付き、リクライニング座席)・屋根付バスステーション及び自家用車用ピロティ・主要出入口自動ドア・大型エレベーター2機・廊下及び教室は木製床・体育館など。

2 高等学校との日常的な交流

フェンス等の障壁がいつさいない同一敷地内に半田高等学校(全日制)があり、道路一つを隔てて半田農業高等学校があります。こうした条件を生かして、高等学校生徒との日常的な交流を進め、ノーマライゼーションの理念の実現に向けた教育を目指しています。

これまで、半田高等学校とは、開校式典での校歌合唱や、小学部での読み聞かせ交流、文化祭の相互参観などを実施しました。今後、中・高等部生徒と半田高等学校図書委員との交流や、毎週金曜日に設定予定の交流タイムでの様々な活動を計画しています。

また、半田農業高等学校とは、交流花壇づくりや、高等学校生徒の課題研究での交流を行いました。今後は、農作物の収穫や飼育動物とのふれ合いを通じた交流なども考えています。

一人一人の児童生徒のニーズに応じた教育のため教職員、保護者が心を一つに新しい学校づくりを進めています。特に、医療や労働等、関係機関との連携体制構築を当面の課題としています。(校長 櫛田章司)

〒350-0158 半田市出口町1丁目8-1
TEL 0569-26-7131 FAX 0569-26-7122

京都市立北総合養護学校

障害種別の枠を超え、地域に開かれた総合養護学校

本校は、平成16年4月に京都市の上京区西陣という市街地に、肢体不自由と知的障害の子どもたちがともに学ぶ全国初の地域制の総合養護学校として開校しました。また併せて、北区に「北総合養護学校紅梅分教室」を開校しました。

本校の位置する上京区は、室町時代から幕府の所在地として、また織物の産地「西陣」として発展してきた地域であり、近くには有名な文化財や神社が点在しています。本校は、明治時代に町衆の力により開校した歴史と伝説のある成逸小学校跡地に建設されました。

安全でのびのび過ごせる環境、誰にでも優しい施設・設備を合言葉に設計された本校は、鉄筋5階建ての3棟からなり、大型のエレベーターや空調を完備した都市型の建物です。

内部は、変化のある豊かな学習活動が出来るよう、スライディングウォールや可動ロッカーでスペースを区切ることが出来る3教室分の広さのスペース、個別の生活リズムを確率していくことが必要な子どもたちのためのゆったりしたりリラックススペースがあります。

また、地域の方々の福祉や住民活動の拠点となる「京都市成逸老人サービスセンター」「京都市成逸老人在宅介護センター」「成逸自治会館」等を併設した複合施設です。

小学部・中学部・高等部に、肢体不自由94名（訪問4名を含む）、知的障害82名、合計176名の児童生徒が在籍し、京都市内の北エリアの通学地域から、毎日4台のスクールバスや自家用車で通学してきます。高等部の一部の生徒は、徒歩や公共交通機関を利用して自主通学をしています。

総合養護学校は障害種別により設定された「場」の教育から、一人一人のニーズに対応できる「個」の教育の実現を目指しています。本校では、「一人ひとりに自立と社会参加の基礎となる生きる力を育成し、ともに、自分らしく生きる子どもの姿を実現する」という学校教育目標を掲げ、「生き生きと生活する子ども」「自分から、自分で、自分らしく、みんなとともに生活する子ども」の育成を目指して、

- 障害種別の枠を超え一人一人の教育的ニーズに応じたより高い専門性に基づく教育
- 本人、保護者、学校が話し合って作る個別の指導計画を基にした学習
- 地域の総合育成支援教育相談センターとして地域と共に歩む学校

の実践をすすめています。

一方、夜間や休日には、体育館や夜間照明のある運動場を利用して、地域の体育復興会に所属するスポーツ団体が多様な活動を展開しています。

開校前には、子どもたち同士のトラブルを心配される保護者もありましたが、知的障害の子どもが車椅子を押して散歩する姿や、肢体不自由の子どもが知的障害の子どもの学習モデルになる光景などが見られます。校歌にあるように「ひとつひとつの命が輝く」北総合養護学校でありたいと考えます。

(校長 林 賢 三)

〒602-0074 京都市上京区堀川通寺之内上る2丁目下天神町650番地の1

TEL 075-431-6636 FAX 075-414-1069

京都市立東総合養護学校

障害種別の枠を超えた総合養護学校

本校は、京都市の東部、山科区に位置し、山科盆地を眺望することができる、自然環境に恵まれた学校です。京都市における養護学校の再編に伴い、平成16年度4月、知的障害の子どもも肢体不自由の子どもも共に学ぶ、障害種別の枠を超えた総合制の養護学校として新たな出発をしました。

前身の京都市立東養護学校は、京都市における初めての知的障害養護学校として、昭和51年に開校しました。以来27年間、知的障害の子どもたちを主な対象として取組を進めてきました。しかし、子どもたちの障害の重度、重複、多様化傾向、並びにノーマライゼーション社会の実現を指向する大きな流れの中で、出来るだけ居住地域に近く、様々な障害のある子どもたちが共に学ぶ地域制・総合制の養護学校として再編され、新たな出発を始めたところです。

豊かな緑に囲まれた2階建の校舎は、様々な障害のある子どもたちのための環境とするため、バリアフリー化を目指した大きな改修を実施しました。当然、予算には限界がありますが、可能な限り工夫を効かせて、子どもたちにとって意味のある環境作りを目指しました。全教室への空調設備の設置、エレベーターや車椅子でも利用しやすいトイレの設置、スムーズな移動を実現するための渡り廊下の設置や段差解消のための工事など、できるだけ子どもたちにとっても優しい施設・環境を目指して改修し、学校生活をスタートしています。

子どもたちは、京都市内の東部に在住し、主にスクールバスを利用して登校します。小学部、中学部、高等部の3学部で構成され、本年度は117名（5月1日現在）の児童生徒が学んでいます。一人一人の障害の状況は様々であり、ニーズも異なります。本人、保護者、指導者の願いを基礎に、一人一人の「個別の指導計画」を作成し、それに基づいた学習指導を展開しています。

P T A活動も新たな出発をしています。‘新しい学校’の‘新しいP T A’として、障害種別の保護者同士の相互理解を図ることや新たな子どもたちのための行事の創造など主体的な活動も生まれています。

出発したばかりの総合養護学校は、様々な課題も抱えていますが、ノーマライゼーション社会の実現を指向する大きな取組の一環として、職員一同、保護者、地域の皆様と共に、子どもたちの社会参加・自立目指し、前向きに歩いていこうとしています。

(校長 北 村 裕 二)

〒607-8122 京都市山科区大塚高岩3

TEL 075-594-6501 FAX 075-594-4214

養護学校の基礎構造改革

昭和61年、知的障害の養護学校として開校し、本年度20周年を迎え、平成16年4月には、新たな歴史を拓く全国初の総合養護学校：主に肢体不自由と知的障害などの子どもたちが共に学ぶ総合制・地域制の養護学校として再編され、新たな出発をしました。

これまでは、障害種別ごとに教育課程を編成してきましたが、児童生徒の障害の重度・重複・多様化により、一人一人の児童生徒の発達・障害等の状態を総合的に促えた生涯にわたる支援を含めた指導が求められるようになりました。平成12年度から2期6年間、京都市立養護学校は、先進的な教育に関する文部科学省の教育研究開発校の指定を受け、「総合制・地域制養護学校の教育課程」の研究に取り組み、本校は、パイロット校として積極的に貢献しました。研究内容は全国から高い評価を得て、特別支援教育への移行に反映されています。

そして、総合養護学校の教育課程は、従来の障害種別によるものではなく、一人一人の特別な教育的ニーズに応じて作成する「個別の指導計画」（京都市版）に基づき、「一人一人の時間割」を作成し、最も適切な内容、方法、グループできめ細かい学習を行います。

また、「個別の指導計画」（京都市版）のシステムとしての学校組織の基礎構造改革を行い、機能別に「総務部」「指導部」「支援部」に再編を行いました。特に、子どもたち一人一人の「教育的ニーズ」に対応できるように、指導の充実とより高い専門性を発揮するために、「指導部」「支援部」の体制の充実を図っています。

地域に開かれ、地域とともに歩む特別支援教育センターとして「総合育成支援教育相談センター」を設置し、「必要なときに必要な支援を」目指し、他の関係機関とのネットワークを組みながら、障害のある子どもへの専門的な支援を行っています。小・中学校などの障害のある子ども：LD等については、医師・専門家等を含む「学校サポートチーム」を発足し、支援・相談をしています。

給食においても、「個別の指導計画」（京都市版）に基づいて一人一人のニーズ：障害や年齢等に応じた献立の実施や副食数増などのきめ細かい給食を、クックチル方式によって実施しています。

障害のある子どもたちの生きる力と保護者への生涯にわたる支援を目指し、新たな学校づくりに取り組んでいます。

（校長 朝野 浩）

〒610-1101 京都市西京区大枝北杵掛町1丁目21-21

TEL 075-332-4275 FAX 075-331-9573



京都市では、平成16年4月に既存の呉竹養護学校（肢体不自由）＜現在は呉竹総合養護学校＞と東、西養護学校（知的障害）の3校に新設養護学校を加えた4校が総合制・地域制養護学校として再編されました。新設校の北総合養護学校、新加入の東総合養護学校、

障害のある子どもたちに対応した教育用ソフトウェア

キッズタッチシリーズ（7タイトル）

平成17年1月、Windows®XP 版提供予定



かくれてるのなーんだ？

- ・ブロックの下に隠れているものを当てたり、その上にお絵描きをしたりできます。



ひらがなかけるかな？

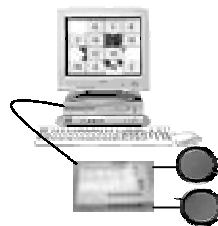
- ・絵や写真で提示されたものの名前とひらがなを学習します。書き順の確認やなぞりの練習ができます。



パズルできるかな？

- ・2～9分割されたピースを組み合わせて、1つの絵を完成させます。

上記以外にも、ぬりえできるかな？、ドレミひけるかな？、いろんなせんかけるかな？、カタカナかけるかな？ があります。



※マウスの操作が困難な場合は、代替キーボードや1～2個の外部入力スイッチを使って操作できます（一部ソフトウェアを除く）。

ソフトの内容、動作環境、価格、購入方法などについてはこちらまで……

富士通(株)コンサルティング事業本部

担当：伊藤

TEL:03-6424-6226 内線：7237

e-mail: consul@tokyo.ssg.fujitsu.com



お知らせ

今年度の北海道大会、第5分科会でもご説明しましたように、障害のある子ども達に対応した教育用ソフトウェア（キッズタッチシリーズ）のWindows X P対応のソフトウェアが平成17年1月に提供されます。Windows95版は当時、独立行政法人情報処理推進機構が文部科学省と経済産業省共管の財団法人であるコンピュータ教育開発センターに委託して行った事業により開発されたソフトウェアです。一時生産が無くなりましたが、全国からの問い合わせを受けて、ようやくWindows X P版として開発、提供される事になりました。

西総合養護学校の校長先生方に学校紹介記事を書いて頂きました。

また、新設された北海道札幌市立北翔養護学校および愛知県立ひいらぎ養護学校の校長先生方にも同様にお願い致しました。（事務局 津久井孝子・石井利恵）